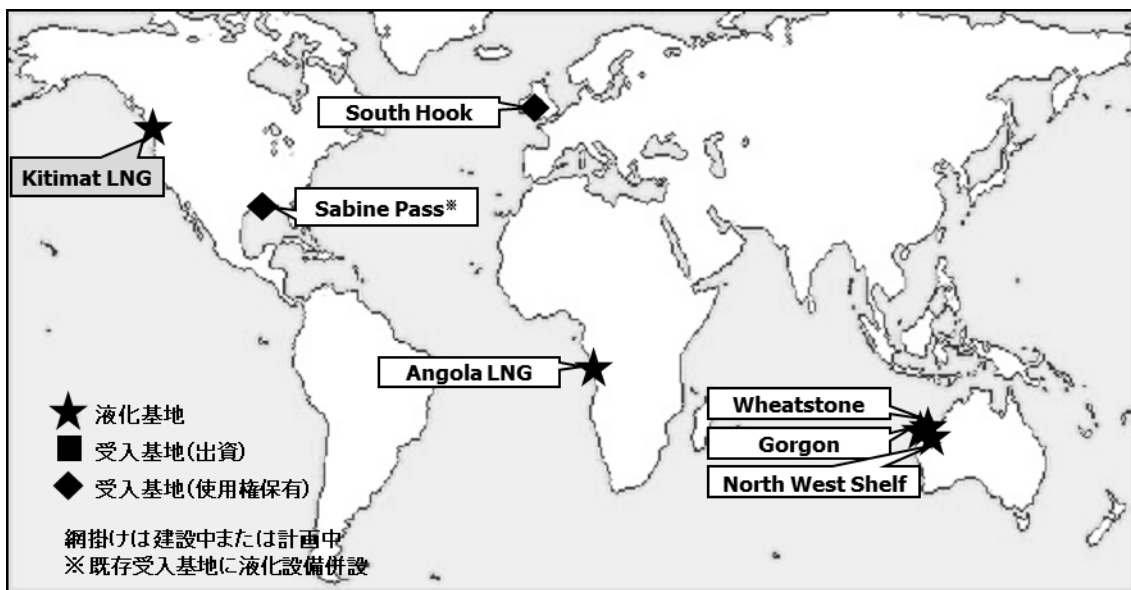


## Chevron

### (1) 企業概要

Chevron は、2001 年に Texaco と合併し社名を ChevronTexaco としたが、2005 年に社名を Chevron に戻した。2019 年の原油・天然ガスの純生産量<sup>1</sup>は、前年比 4%増加し 305.8 万 boe/d で過去最高であった。原油・コンデンセート・NGL・合成燃料の生産量は 186.5 万 b/d、天然ガスの生産量は 7,157 Mcf/d であった。

### Chevron の LNG 液化・受入基地図



### (2) LNG 関連

Chevron は、豪州最大の LNG 生産者であり、North West Shelf に参画し、Gorgon 及び Wheatstone LNG ではオペレーターを務める。アジアの需要開拓を進めており、2018 年には、Gorgon LNG から中国 ENN が操業する舟山 (Zhoushan) LNG 受入基地向けに初カーゴを供給した。

新規案件としては、Woodside と共に (Chevron がオペレーター)、カナダ西部ブリティッシュコロンビア州において、Kitimat LNG (年産 1,800 万トン) に参画している。2019 年 8 月、カナダ連邦環境評価庁 (CEAA) は、同プロジェクトの環境影響評価を開始した。さらに同年 12 月、同国連邦エネルギー規制機関 (CER) は、Chevron Canada による 40 年間の LNG 輸出許可申請を承認した。同社は最大年間 283.8 億 m<sup>3</sup> (2,000 万トン強) の輸出を計画している。

<sup>1</sup> 持分法適用会社分含む。

## Chevron が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地
オーストラリア	North West Shelf (Train 1-2)	500	1989年	Woods side 16.7%, Shell 16.7%, BHP 16.7%, bp 16.7%, Chevron 16.7%, M M I(三菱商事 50%, 三井物産50%) 16.7%	アジア
	(Train 3)	250	1992年		アジア・太平洋
	(Train 4)	440	2004年		
	(Train 5)	440	2008年		
	Gorgon LNG (Train 1)	520	2016年		
	(Train 2)	520	2016年		
	(Train 3)	520	2017年		
	(Train 4)	520	計画中		
	Wheatstone LNG (Train 1)	445	2017年	Chevron 64.136%, Woods side 13%, PEW 8%, KUFPEC 13.4%, 九州電力 1.464%	アジア
	(Train 2)	445	2018年		
アンゴラ	Angola LNG (Train 1)	520	2013年	Chevron 36.4%, Sonangol 22.8%, bp 13.6%, Total 13.6%, ENI 13.6%	欧米
カナダ	Kitimat LNG, BC	1,800	2029年 計画中)	Chevron 50%, Woods side 50%	N.A.

※PE Wheatstone社

## Chevron がキャパシティー使用权を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 万トン/年)	受入開始
アメリカ	Sabine Pass LNG, LA 液化基地を併設)	Cheniere Energy Partners (Cheniere Energy 59%, Public Unitholders 9%, Blackstone 32%)	1,975	2008年
イギリス	South Hook LNG /Milford Haven	Qatar Petroleum 67.5%, ExxonMobil 24.15%, Total 8.35%	1,560	2009年

## (3) 今後の戦略

2019年3月、成長戦略として、2023年まで原油・天然ガス生産量の年間増加率3-4%を目標とした。加えて、2021-2023年にかけて年間190-220億ドルの投資目標額を設定したが、2020年3月、市場環境へ対応するため、年内の資本的支出を20%削減の160億ドルとした。今後の方針として、低リスクで短期的に収益が望めるプロジェクトを優先するとして、Kitimat LNGを含むガス関連資産投資を削減する意向を示している。

上流事業については、2019年4月、Anadarkoの全発行済み株式を500億米ドルで取得することで合意し、モザンビークの資産を引き継ぐ計画だったが、Occidental Petroleumによるカウンター買収があり、計画を断念した。2020年7月、Noble Energyの全発行済み株式を130億米ドルで取得することに合意し、イスラエル沖合の資産・米国内の非在来型資源(DJ、Permian)を獲得するとした。

低炭素化への動向としては、2019年10月、上流部門の純GHG排出原単位削減について、石油部門5-10%および天然ガス部門2-5%を、2016~2023年にかけて達成する目標を設定した。2018年7月、GHG排出量削減とエネルギー源の多様性を高める技術に投資するFuture Energyベンチャーキャピタルファンドを1億ドルで設立した。2020年1月、水素の長期ビジョンを提供する世界的な諮問機関である水素評議会(本部ベルギー)に加盟した。